

とと
玉の
化
珠
石
文

日本を席卷する腕飾りの誕生と 中世に花開いた凝灰岩文化

問い合わせ

観光交流課 ☎24・8076

小松ブランドの終焉と復活

国内最先端の石室構築技術

弥生時代に最先端の技術を誇った八日市地方の玉づくり。しかし、弥生時代後期には、小松以外の新たな原石採取地の開発や鉄製器具の普及とともに、小松の碧玉製管玉ブランドは終りを迎えます。

ところが、古墳時代前期になるとヤマトに強大な勢力が誕生し、新たに大型の装身具として石製の腕輪生産が始まりました。そのような中、加工しやすくきめ細かな石質を持つ小松の緑色凝灰岩が再び注目を集めます。精巧な彫刻加工が施されたデザイン性の高い鍔形石などの腕輪は、当時のヤマト王権の諸王がステータスシンボルとしてこぞって求め、日本各地へと広まってきました。



▲小松産石材を利用した石製の腕輪



▲河田山古墳群のアーチ型石室

古墳時代後期には、新たに建築部材として石材の活用が始まります。小松市東部の里山には良質の凝灰岩が広範囲に分布し、これを切り出し加工することで、大型古墳の横穴式石室に使用されました。特に河田山古墳群では、飛鳥時代のアーチ式天井を持つ切石積横穴式石室が発見され、当時の国内最先端の石室構築技術が確認されています。天井

部がアーチ構造の横穴式石室は国内唯一であり、朝鮮半島の百濟王墓との類似性から、大陸とのつながりの中で直接小松に伝わったものと推察されます。

生活・信仰・文化に根付いた石の利用

古代において王の墓や国の建築物など、特別な建造物への利用が主であった切石技術は、中世に入ると鉄製の石工道具の進化と普及により、生活・信仰・文化に密着したものと広がっていきます。行火や囲炉裏、井戸枠、火鉢などの生活道具のほか、灯籠や石仏などの信仰具、五輪塔をはじめとする様々な石塔など、細かな細工を施す石造彫刻品が活発に制作されるようになりました。

小松の石材は調達の手軽さもあり、庶民に広く受け入れられ、小松の凝灰岩文化が花開いていきました。

interview

もう一つの切石積石室

京都府立大学 菱田哲郎 教授

飛鳥時代、都を中心に切石を用いた横穴式石室が流行しました。同じ頃、小松地域においても地元の凝灰岩を利用した切石積横穴式石室が作られています。河田山古墳群です。そこでは、石のズレを防止するための鍵手技法など、都にはない先進的で高度な技術が用いられ、美しいアーチ天井が構築されていたことに大いに驚かされます。まさに、石の町、小松の象徴と言えるでしょう。



豊かな緑と心を 次世代の 子供達に

こまつちゃん●暖かい陽気に誘われて木場潟公園にウォーキングに出掛けてみました。木々の新芽がふつくとらとし、春の訪れを感じますね。

和田市長●寒さに覆われた小松の森にも、若草色の芽がはじめています。

昨年の全国植樹祭では、豊かな森の恩恵が私達の生活を支えていることを改めて実感し、大会スローガン「木を活かし 未来へ届ける ふるさと森」のメッセージも皆様の心に深く刻まれたのではないのでしょうか。

この植樹祭で高まった意識を健全な森づくりにつなげよう」とこまつファミリー協賛が2月に発足しました。

た。近年、全国的に林業の担い手不足などで森林の適正管理が難しい状況になっています。小松市においても協議会を軸に、産学公民が連携して循環型の森林保全や新たな森林資源の活用などを検討していきます。木材生産に加え、治山治水や地球温暖化防止などの森林が果たす多面的な機能を十分に活かせるよう、環境と共生するスマートなまちづくりを目指していきます。

こまつちゃん●美しいこまつ森をぜひ次世代へ届けたいですね。

和田市長●豊かな緑を継承するとともに、子供達の大きな夢と可能性を広げるのも私達の使命です。3月の春休みに向けて、サイエンスヒルズこまつや市内で楽しい体験型イベントをたくさん用意しました。

現在は小学生のお子さんでもインターネットを使って、画像で見たり聞いたり疑似体験ができる時代です。しかし、実際に本物を自分の目で見て耳で聴いて、手で触れて味わう感動に勝るものはありません。

ぜひ、この春は好奇心のスイッチをオンにして、こまつ春の春のスペシャルイベントにお出掛けください。

卒業

小学校から大学院まで卒業式に3回しか参加していない私にとって、日本では卒業式が多いように感じます。日本とブラジルを比べると回数と雰囲気は全く異なっています。日本の卒業の時期は3月で、それを機にそれまでいた環境や仲間と別れ、進学したり、就職したりして4月から別々の道を歩んでいきます。小・中・高校と大学の終わりに卒業式がありますが、ブラジルでは、本格的な卒業式というのは高校と大学を卒業するときだけで、日本と比べると数が少ないのです。また、卒業の時期も2月で、カーニバル休暇を挟んで3月からまた新しいスタートという感じです。

日本の場合、式を見に行くときにおしゃれにスーツや着物・ドレスを着て参加する人が多いと思いますが、ブラジルの場合は服装が決まっておらず、カジュアルな格好でも違和感がありません。みんながうれしい顔をしながら泣いたり、見に来てくれる人達も日本のアイドルコンサートのように応援道具を持ってきたりするので、卒業式がにぎやかでカラフルなものになります。私はそんなブラジル風の卒業式が大好きです。会場で大きな風船がたくさん放たれるアトラクションなど何でも有り得ます。

私は、4月で国際交流員としての勤めを卒業します。皆さんとコミュニケーションして5年が経ちましたが、長い間お付き合いいただきありがとうございました！卒業はしますが、これからもハファエレをよろしく願います！お元気で★

ブラジルから来ました
国際交流員
ハファエレの
Vamos nos conhecer!
仲良くなりましょう
ヴァモス
ノス
コニェセル



▲私も今年の1月で「独身」を卒業しました★

皆さんからのご意見や感想をお待ちしています。 国際都市推進課 ☎24・8039 kokusai@city.komatsu.lg.jp